

1. 指定管理者	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 市之倉公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 市之倉公民館の使用許可に関すること。 (3) 使用料の徴収に関すること。 (4) 公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		95%未満～85%:3点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 大ホール:41.3%(平均値比 105.8% = 41.3% ÷ 39%) 研修室:26.4%(平均値比 80.5% = 26.4% ÷ 32.8%) 和室:11.6%(平均値比 58.9% = 11.6% ÷ 19.7%) 料理実習室:9.9%(平均値比 123.8% = 9.9% ÷ 8%) 陶芸室:7.3%(平均値比 86.9% = 7.3% ÷ 8.4%) 資料室:36.2%(平均値比 78.5% = 36.2% ÷ 46.1%)		4点		
						平均値比(86%)=利用率(22.1%)÷25.6%(上記①適用)							
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値		85%未満:2～0点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 大ホール:11,698人(平均値比 81.5% = 11,698人 ÷ 14,360人) 研修室:3,464人(平均値比 54.1% = 3,464人 ÷ 6,403人) 和室:1,048人(平均値比 45.7% = 1,048人 ÷ 2,291人) 料理実習室:227人(平均値比 32.0% = 227人 ÷ 709人) 陶芸室:293人(平均値比 77.3% = 293人 ÷ 379人) 資料室:3,159人(平均値比 66.0% = 3,159人 ÷ 4,783人)		4点		
		平均値比(68%)=利用人数(延べ19,889人)÷28,925人(上記(1)適用)											
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P181～186 ①公民館まつり (1)市之倉公民館文化祭(展示350人、ステージ200人) ②地域意識醸成事業 (1)地域介護予防事業(ひだまり健康大学9回234人、イケメン健康塾40回784人、元気アップひろば14回242人) (2)市之倉・養正・脇之島公民館・笠原体育館4館合同事業 冬季卓球交流会(28人) (3)親育ち4・3・6・3協賛事業／家族の日(16人)、なかよしひろば(3回66人)、新春書初め大会(39人) (4)活性化委員の会事業／イルミネーション事業(1,300人)、夢ふうせん事業(330人)絵本の福袋(20人)		仕様書以上 13点	①公民館文化祭の参加団体が昨年度より増加。リサイクル本フェアも2年ぶりに開催された。公民館としてコロナで落ち込んだ活動を呼び戻すための取組みが結果となった。 ②他施設との卓球交流事業は、愛好者の励みにつなげるとともに、世代間、地域間の交流に寄与した。 ③イルミネーション事業は地域との連携による恒例事業として定着。地域や公民館の活性化を望む声に応えて取り組まれている。 ④「絵本の福袋」は、袋の中身を少し見せて興味を沸かせる工夫で好評を得た。例年と違う少しの工夫が利用者の満足感につなげられた。		13点			
					年次報告書P187～193 ①心の交流事業／コロナ*アートでエール作品展(310人) ②子ども対象事業 (1)チョコのカップケーキを作ろう(12人)、(2)フラワーアレンジメント(12人)、(3)ストラップを作ろう!(5人)、(4)ヒップホップダンス(96人) ③成人対象事業 (1)絶品みそ料理(12人)、(2)ぜいたく3種のマリトッツォ(14人)、(3)バランスボール(76人)、(4)椅子に座ってらくらく体操(37人)、(5)今日からわたしもオンライン!(21人)、(6)リボンで作るクリスマスリース(10人)、(7)粘土で作る福寿草(10人)、(8)お正月の花飾り(24人)、(9)新春を彩るアレンジ花(19人)、(10)100人で歌うなつかしの歌のつどい(752人)、(11)歌唱力UP講座(427人) ④クリスマスコンサート2021 (1)サクセスで彩るクリスマス(75人)、(2)2じコンサート(96人) ⑤ギャラリー愛(11展示2,790人)			①「コロナ*アートでエール作品展」は、コロナ禍の活動自粛中に描かれた絵画を募集し、展示。利用者の発表の場の創出に努めた。 ②スマホ講座は、オンラインでの交流を求める高齢者の声に応えたものだが、一般的にニーズは高い。初心者向けサークルへの参加にもつながり、今後のケアにも期待。 ③会員減少に悩む利用団体への支援はどこも需要が高い。講座の受講者とサークルのマッチングは、サークルの魅力をいかに伝えていか、職員の献身的な取組みもうかがえる。					
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)		①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P194 ①施設内清掃を実施(毎日) ②屋外トイレの清掃(毎日)と業者による内壁、外壁の洗浄 ③活性化委員による第2駐車場の草刈り		適正(普通) 2点	適正に実施されている。		10点		
			②保守・点検			年次報告書P194 ①消防設備保守点検は法定点検として年2回実施 ②その他事業計画に基づき、各種月例点検、年次点検等を遺漏なく実施		適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
			③保安・警備			年次報告書P194 ①機械警備業務を委託(毎日)		適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
			④小規模修繕			年次報告書P195 ①有償修理 全18件 総額677,384円		適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P195 ①ロビーにサーモグラフィー用コンセント差込口とカバーモールド設置 ②研修室床剥がれ修繕 ③給湯室シロアリ駆除剤塗布 ④卓球台ストッパー交換		適正(普通) 2点	適正に実施されている。				

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P196 ①市ファイリングシステムに準じて、適切な文書管理と情報の共有を実地。 ②フォルダー内は重複文書がないようにチェック。必要最小限の保管に努めている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
			②環境への配慮			年次報告書P196 ①環境衛生への取組みとして、講座でのパーテーション設置、スリッパの定期的な洗浄、換気扇の更新、休館中の職員による美化活動など ②エアコンのルーバー風向き調整板を設置。空調効率の向上を図った。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			③バリアフリー			年次報告書P196 ①読書バリアフリー法を遵守。大活字本コーナーの充実。 ②床の配線でのつまづき防止のため、コンセント増設とカバーモールを設置。 ③玄関に立ち上がり補助の簡易手すり、脱ぎ履き補助の手すりつき椅子を設置。 ④車いす利用者が円滑に移動できるよう動線の確保に努めている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理			年次報告書P197 ①劣化破損した資料室の椅子の更新。 ②老朽化により故障した掛け時計の更新。 ③備品台帳を総チェックし、購入年月日の情報を加え新たな備品台帳を作成。 ④放送室の整理を実施。利用頻度により備品保管場所を見直し。 ⑤安心して利用していただくため、定期的に机やミラーのねじの緩みチェックを実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤個人情報保護			年次報告書P197 ①公民館利用の案内板には、特定の個人を識別できないよう配慮。 ②広報媒体に利用者の顔写真を掲載する場合は、必ず本人の許諾を得ている。 ③子どもの写真掲載の可否は、講座申込書に確認欄を設け、保護者に聞き取り。 ④個人情報が記載された書類を処分する際は、シュレッダーで細断処理。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし。	0点	
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入20,959,730円÷支出20,796,836円＝101%	105%未満～100% 4点	【参考】令和元年度99%、令和2年度93%	4点		
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P199 ①管理面 (1)コロナで大ホール利用団体が増加。ダンス用ミラーを追加購入。 (2)大ホールのドアを明るく軽いドアにリフォーム。 (3)研修室の床が剥がれ等不具合な箇所を磨き塗装し補修。 (4)眩しさを訴えられるステージのスポットライトをLEDに更新。 (5)駐車場の混雑予想をロビー掲示とホームページで案内。 ②事業面 (1)2じコンサートの演奏者のウクライナへの募金に協力。日赤を通じて全額寄付。 (2)イルミネーションとクリスマスコンサートを実施。来館者や地域に喜ばれた。 (3)講師の希望を受けて幼児向けヒップホップダンス講座を実施。後にサークル化。 (4)ネットで孫の顔が見たいという高齢者の要望を受け、高齢者対象のオンライン講座を実施。 (5)囲碁将棋交流会を企画。コロナの影響で日程を延期して実現。	期待以上 9点	①利用者の声を受けた環境整備として、備品調達や修繕、更新などがきめ細かく実施されている。 ②特に日常的な駐車場不足は利用者にも理解いただいているとはいえ、時間によっては利用者に迷惑をかけるケースもある。見込まれる混雑時間の情報提供への取組みは目に見えるサービスの向上。 ③利用者との日常のやり取りの中でニーズをつかみ、事業に繋げている。スマホ講座は人気の講座と聞くと、一人のニーズに何人のニーズが隠れているかを見極めて取り組まれた。 ④令和2年度に続き臨時休館や時間短縮に翻弄されながら、安心安全な施設運営に努めた。	9点	
		②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし	5点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P200 ①より良い施設運営 (1)築後40年を経過した施設として、事故を防ぐための予防保全に努めている。 (2)防災備品補充や充電機能ラジオ等の購入。職員間で防災意識を高めている。 (3)電話回線とインターネット回線の一歩化により通信費を約6万円削減。 (4)公民館を利用する地域住民による公民館の美化活動への協力。 (5)東京オリンピック・ボクシング出場地元選手を公民館だよりで応援。 ②事業実施のための提案 (1)同じ指定管理者による施設のメリットを生かし、合同企画や交流事業を実施。 (2)将来的な児童センターとの統合を見据え、児童センターとの共催事業を推進。 (3)各講座をSDGsの17目標に当てはめ、受講者へSDGsの意識付け。 (4)健康大学の皆勤賞・精勤賞の受講者へ職員がオリジナルマスクを作製し進呈。 (5)災害時に子どもも地域の力となることを期待し、体験型子ども防災ワークショップを実施。 (6)地域住民向けに防災事業を実施して、地域の防災力を高めることを目指す。	期待以上 14点	①老朽化が進む施設であるからこそ、利用者の施設に対する声を真摯に受けて改善に努めている。 ②日ごろの電話料金を当たり前のものとせず、回線の見直しで大きな経費削減につなげた。 ③児童センターとは日ごろから連携した取組みがなされているが、統合の計画もある中でその意識を高めている。今後より一層交流が深まることを期待している。 ⑤地域住民が、公民館を地域の拠点と位置付けて、主体的に美化活動を行っている気運がうかがえる。活動を通してお互いの顔が見える地域として、地域づくり・人づくりにも繋がる取組み。	14点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし		0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点		
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					合計86点	極めて良好
								全体的な評価 ①長く地域に根付いている公民館として、公民館と地域住民相互の良い関係の中で、施設の管理や事業運営が行われている。特に防災への意識が高く、年代に応じた取組みが行われている。 ②施設の美化活動や比較的大きな修繕でも、地域の方の自主的な取組みがうかがえ、世代が代わっても親しまれる施設づくりに期待する。		